

## 1年間の分館活動を振り返って

～さまざまな活動の一端を紹介します～

### 第一区 天白社小宮祭お祭り広場

分館長 濱 克典

第一区分館では、十月九日に行われた天白社小宮祭に合わせ紫雲閣前広場を会場に「小宮祭お祭り広場」を実施しました。当日は雨が降る中、早朝から四つのブロックに分かれた町内会が四本それぞれの御柱を曳行し、秋葉山の天白社まで曳き付けました。昼頃には雨も上がり、社中学校絆太鼓に続き区長鏡開きでお祭り広場がオープンしました。広場周辺には屋台が並び、豚汁、焼きそばなどが振る舞われ、ブロックごとに懇親を深めていました。屋台運営には中学生も参加してもらい、分館行事の一端に触れてもらいました。

催し物では、曲傘、長持ち、木遣り等が披露され、ブロック対抗競技の丸太切りや的当てで大いに盛り上がりがありました。第一区としては最後の御柱行事というところもあり、皆さん存分に楽しまれている様子でした。



### 第二区 区民総合文化祭

分館長 保科 勝俊

青塚の木々が紅葉し始めた秋色の季節に、区民総合文化祭を開催しました。御柱年にちなみ、区民の作品に小宮の写真を加え、また大人も子どもも楽しめる企画コーナーを設け、百二十名を超える来場者でにぎわいました。

当日は、財産区の小宮があり、遠くに近くに木遣り唄とラッパが響く中で、会場に流れる昭和色の御柱記録映画に懐かしさを覚えました。

中でも味付けに趣向をこらしたベビーカーづくりと、多彩に模様が変化する万華鏡づくりは絶えず親子でにぎわい、福引きでは豪華賞品が当たる度、軽快な鐘の音とともに歓声が響きました。

また、婦人会を中心に用意していた恒例のおしること秋野菜のお漬け物の振る舞いに舌鼓を打ち、晴天の秋空に文化の薫り漂う一日を過ごすことができました。



# 1年間の分館活動を振り返って

## 第三区

### 諏訪湖ナイトクルージング

分館長 諏訪 敏和

晩秋の一夜、行く夏を惜しみつつ夜の諏訪湖上を遊覧しながらファイヤーフェスティバルを鑑賞しようと、八月二十六日、二十七日の二回にわたって実施しました。

第三区分館では初めての試みでしたが、主催側での定員設定を大幅に上回る申込みをいただき、心ならずもお断りをする部分も発生する中で、総勢百六十余名(二日間合計)の参加をいただきました。

午後七時に下諏訪港を出港、花火の打ち上げまでの間を湖上遊覧しながら、会話や食事を楽しんだりして過ごし、花火を鑑賞して午後九時に下諏訪港に帰着、現地解散となりました。

参加をされた皆様からは今後も開催してほしい旨の要望も多数いただくと一方、時間を持って余す場面も多くあり、時間設定など今後の課題が残りました。



## 第四区

### 注連縄作り講習会

分館長 林 茂

注連縄作り講習会は多くの分館が催していますが、当分館でも長年来続く伝統の人気行事で、今回は十二月十一日に開催され約六十名の参加者を見ました。



御柱年に当たり当区は年頭初に秋三、秋四の元綱を久保三町で雌綱、武居が雄綱を、伝統に強いコダワリを持って打ち上げました。「藁」独特な匂いや感触に、参加者の多くがああ時の「近い過去」を懐かしく思い出したかもしれません。

毎回楽しみだという常連さんは、程よくまだ青みの残る藁を心地よい音を伴い手早くない上げ、さらにご近所さんの分も作るとのこと。初心者も苦戦しつつも良き指導者のもと、見事にない上げ、最後に縁起飾りを付けてニンマリ顔。

皆様が愛着ある自作の注連縄を飾り、良い年越しができたものと確信してやみません。いつまでも続けたい行事の一つです。

## 第五区

### 祇園祭

分館長 小口 信太郎

高木津島神社では、七月九日、十日と祇園祭が挙行されました。

九日の宵祭では昼過ぎには雨が上がり、多くの区民の皆さんが神社境内に足を運びました。焼き鳥、じゃがバター、だんごやモロコシなどが並ぶ模擬店の前には提灯が吊られ、夕暮れを迎える頃には祭りの風情にあふれました。

消防ラッパに長持ちの披露、子どもたちのリズム体操など区民参加での催し物、総勢百名のダンス演舞のほか、九・十月に同神社で執り行われる津島神社御柱祭にて曳行を盛り上げる子ども木遣りのコンテストが行われ、宵祭は大いに盛り上がりました。

宵祭を締めくぐるお楽しみ抽選会では、昨年より『なぎがま コミュニティスクール』の中学三年生がプレゼンターとして場を取り切り、まさに区民総出のお祭りの締めを飾ってくれました。



# 1年間の分館活動を振り返って

## 第六区 注連飾り作り講習会

分館長 今井 憲彦

師走も中旬に入った十二月十一日、町屋敷在住の宮本梅之先生を講師に迎え、注連飾り作り講習会を開催しました。藁は地元の農家の方に分けていただきました。一人ひとり藁をすくところから始め、最初は三等分にした束をねじっていくのに苦戦していましたが、何度かやり直すとコツをつかみ綺麗にできてきました。それぞれのパーツを組み立て、飾りを付ければ立派な注連飾りの完成です。普段は馴染みがありませんが、自分で作ってみると愛着が湧きます。参加者はそれぞれ自宅の玄関に飾って、いただき、良い新年を迎えられたことと思います。今後六区の大切な行事として継続して行ってほしいと願っています。



## 第七区 納涼祭

分館長 山田 政利

八月六日(土)、公民館及び周辺道路で恒例の納涼祭を開催しました。

天気にも恵まれ、子どもからご年配の方まで、約七百人の区民の方が参加され盛大な納涼祭となりました。

オープニングは子ども木遣りの皆様の元気な声で始まり、第七分団のラッパに盛り上げていただきました。大勢の方に楽しんでもらえるようにと、屋台の充実を図り、ポップコーン、おつまみ等バラエティに富んだ出店でご好評をいただきました。お子様向けのボウリング大会、光るおもちゃ、ボンボン釣りと大盛況でした。またビンゴ大会も大いに盛り上がり、最後は区长点火によるナイアガラ花火を楽しんでいただきました。祭りを通して、世代間の交流が図られ、親睦が深められた機会となりました。



## 第八区 注連縄飾り講習会

分館長 北原 清昭

恒例の注連縄飾り講習会を、十二月十一日に行いました。

肌寒い気温でしたが、清々しい快晴の中、地区にお住まいの守屋氏を講師にお迎えし、二十名ほどの参加者により開催しました。

参加者は、毎年参加の経験者から、興味を抱いて初めて参加された方、また小さなお子様連れの若手から年配者の方まで、幅広い世代の方が集い、地域のつながりを感じる時間となりました。新年を迎える準備のひとつでもある注連縄を自らの手で作りあげることで、貴重な体験にもなり、既製品とは違う格別なオンラインワンのもとなった様子でした。

和気あいあいとした中、講師のお力添えもあり何とか全員無事完成することができました。伝統と技術の継承につながる行事だけに、今後も大勢の方々に参加していただけるよう宣伝していきたいと思えます。



# 1年間の分館活動を振り返って

## 第九区 マレットゴルフ大会

分館長 埴原 千善

秋晴れの十月二十三日、星が丘マレットゴルフ会と共催で、第九区分館のマレットゴルフ大会を、星が丘コミュニティマレットゴルフ場で開催しました。

星が丘マレットゴルフ会では、社中生徒との交流会として例年行っております。

この日も社中生徒の有志を含め、三十名強の参加をいただき大会が行われました。

全二十七のアップダウンコースに挑み、最高齢八十二歳から最年少十四歳の世代間交流が実現しました。

今後もマレットゴルフという、老若男女誰もが気軽に楽しめる行事を継続的に企画し、参加者が増えて、第九区の恒例の行事として定着していただければ嬉しく思います。



## 第十区 区民親睦大運動会

分館長 伊藤 晃

十月九日、第四十回区民親睦大運動会を下諏訪南小学校で行いました。当日は青空のもと、校庭で行う予定でしたが、

早朝からの雨で体育館で行うこととなりました。

雨にもかかわらず、幼児から高齢者まで三百人を越える区民の皆様の参加がありました。

区長さん、町長さんの挨拶の後、準備体操を行い、競技に入りました。幼児・小学生のしっぽ取りゲームで始まり、イス取りゲーム、パン食い競争、宝拾い、かけっこ、紅白対抗スプリンタースタッフ、昼食をはさみ楽しみました。昼食では豚汁を振る舞い、各家庭から持ち寄った料理を分け合い、和気あいあいと楽しく親睦を深めていただきました。

親睦を深める唯一の伝統ある運動会なので、今後も継続していただきたいと思えます。



## 早春の二態

土手の隙間に足を伸ばした？つらら。もうすぐ滴となつて・・・



日だまりに花を咲かせた福寿草。枯れ草の原に、春一番の彩りをそえてくれます。





# 花田養護学校

私たちの学校の自慢は、「子どもたちと先生の笑顔」です



**小学部** 「一人一人が かがやく生活をめざして」

小学部は春・夏・秋・短期 4つのグループに分かれて学習しています。友だちや先生とのかかわりを大切にしています。



「クリスマスランド」の滑り台やキラキラトンネルで遊んだよ。サンタさんからのプレゼント何かな？

学校祭「花はな祭」で「世界がひとつになるまで」を歌ったよ。みんながずーっとなかよしでいられますように…



**中学部** 「人・もの・地域とのかかわりをひろげよう」

中学部は、御田町おかみさん会、下諏訪・岡谷の商店や施設の方々を訪問し、交流させていただいています。諏訪日赤看護学生さんや社中学校のみなさんとも交流をしています。



看護学生さんと記念写真！  
かわいいお顔で一!!

御田町のおかみさんと剣道をしたよ。他にもいろいろなお店でおかみさんと交流しました。



**高等部** 「自己理解を深め、ともに楽しい学校生活を送ろう  
卒業後の社会で必要な態度や技能、知識などを養おう」

高等部では前期、後期1回ずつ校外で実習を行い、卒業後の生活の準備をします。実際にお客様の手元に届く製品を作る仕事もします。学校生活では味わえない体験や、初めて出会う方に緊張することも多いですが、校外での活動に胸が踊る時間でもあります。



実習先への移手段の予約も自分でしています。今日も充実した実習が出来ました。俺 がんばってる！



お客様に届く製品。指の先まで神経を使って、心をこめて丁寧に！

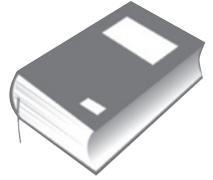


## \* 図書館からのお知らせ \*

★☆☆3月3日～16日は一人本20冊CD/DVD・8枚借りられます。★☆☆

★☆☆☆☆3月17日～31日は図書館の本が借りられません。★☆☆☆☆

この期間、お借りになっている本は借いたままで結構です。  
また開館しておりますので、新聞・雑誌・本の閲覧はできます。  
インターネットも利用できます。

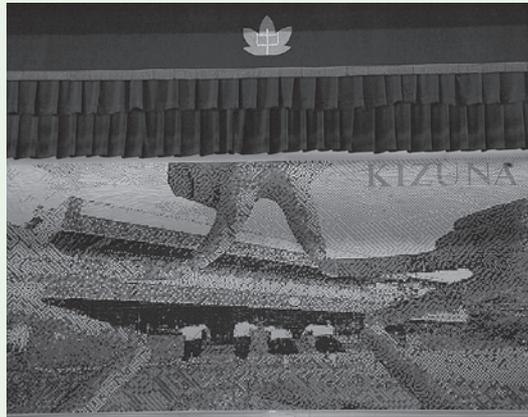


6市町村の図書館ネットワークは4月から新しいシステムに変わります。ネット上から貸出延長を自分で出来たり、スマホ対応のホームページが出来たり便利になります。予約の本の流れもスムーズになります。システムの入替のため大変申し訳ありませんが2月～3月は利用制限があります。ご理解ご協力をお願いいたします。

連絡先 下諏訪町立図書館 0266-27-5555

### 下諏訪中学校絆祭

#### ステージバック「銀河」より



校舎を背景に、生徒会目標の「銀河」にむかっていく僕たちをイメージしています。全校を縦割りの四十グループに分けて、二・五cmの色紙を一枚ずつ貼り合わせて制作しました。全校の協力でできた作品です。

制作の二コマ



### 三つ巴

少年の日、春まだ浅い山の小道を、一人小さな川に沿って山に向かい歩いて行ったことがある。辺りは枯れ尽くした草で覆われ、残雪がそこかしこにあり、まだ冬がどっかりと居座っていた。まばらに見える木々は、全て葉を落として冬枯れの姿を見せ、松や杉など常緑の樹は、くすんだ濃い緑の色そのままに遠くに佇んでいた。

流れに沿ってしばらく行くと、何十年も打ち捨てられたかのような一軒の小屋が目に入ってきた。窓は破れ、板壁は所々に隙間をのぞかせ、屋根に届きそうなほどに薄や茅が覆い、今にも倒れんばかりの姿を見せていた。山中に朽ち果てた姿の廃屋を目の前にして、何故か遠い異国の荒野を流れ下る大河の河口の景色が思い浮かんだ。荒涼という言葉を知ったのは、随分後のことだった。

廃屋を遠巻きにしてなおも行くと、僅かな水の流れる音と共に、水辺に芽を出しているネコヤナギの姿が目に入ってきた。手で触れると、和毛にしげが文字通り猫の毛の手触りでなつかしい思いに駆り立てられる。

巡り来る季節の中で、早春がもつとも心に響いてくる。今年もその季節を迎える。

(山田孝實)